

## 標準委員会 第33回基盤応用・廃炉技術専門部会議事録（案）

1. 日時 2016年9月05日（月） 13：30～15：00
2. 場所 5東洋海事ビル A+B 会議室
3. 出席者（敬称略）
  - （出席委員） 萩原（部会長），越塚（副部会長）（途中から退室），吉田（幹事），石川，上野，北島，堺，坂本，佐々木，佐田，宿谷，田中，西田，日比，宮坂（15名）
  - （欠席委員） 岡本，山口（2名）
  - （委員候補） 伊藤 肇（関西電力），伊藤 博英（日本原子力発電），三本木 満（東京電力ホールディングス）（3名）
  - （代理常時参加者） 塚本 直史（原子力規制庁／工藤）（1名）
  - （説明者） 【放射線遮蔽分科会】坂本主査，【専門部会】吉田幹事，【風洞実験実施基準分科会】伊藤幹事，沼田常時参加者，【専門部会】萩原部会長（5名）
  - （事務局） 中越，井関，谷井（3名）

### 4. 配付資料

- ATC33-0 議事次第
- ATC33-1 前回議事録（案）
- ATC33-2-1 人事について
- ATC33-2-2 ATC32-2”人事について“の修正
- ATC33-3 「放射線遮へい計算のための線量換算係数:2010」改定要否検討結果の基盤応用・廃炉技術専門部会決議投票結果について
- ATC33-4 標準英訳の優先度調査結果
- ATC33-5 用語集に対する基盤応用・廃炉技術専門部会の意見集約
- ATC33-6-1 発電用原子炉施設の安全解析における放出源の有効高さを求めるための風洞実験実施基準の改定について（中間報告）
- ATC33-6-2 風洞実験実施基準 新旧比較表
- ATC33-7 分科会の活動状況について

### 参考資料

- ATC33-参考1 基盤・応用技術専門部会委員名簿
- ATC33-参考2 標準委員会の活動状況

### 説明資料

- ATC37-説明-1 原子力学会の行動指針
- ATC37-説明-2 倫理規程（行動の手引）
- ATC37-説明-3 標準委員会活動基本方針
- ATC37-説明-4 行動指針と倫理規程について（OHP）

### 5. 議事内容

事務局から開始時点で委員17名中，15名の出席があり，委員会成立に必要な委員数（12名以上）を満足している旨，報告された。

(1) 前回議事録（案）の確認（ATC33-1）

前回議事録（案）について事前に配付されていた内容で承認された。

(2) 人事について（ATC33-2-1, ATC33-2-2）

事務局からATC33-2-1に基づき、専門部会及び分科会の人事についてそれぞれ下記の提案があり、委員退任等が確認され、審議の結果、委員の選任等が決議された。更に、事務局からATC33-2-2に基づき、清水委員（放射線遮蔽分科会）及び館野委員（有効高さ評価モデル分科会分科会）の人事についての訂正報告があつた。また、会議後に、有効高さシミュレーション分科

会は有効高さ評価モデル分科会の誤りであること及び伊藤 博英（日本原子力発電）氏は有効高さ評価モデル有効高さシミュレーション分科会代表者にまだ選出されないことが判明した。

1) 専門部会

① 委員退任の確認

沼田 邦夫（日本原子力発電）（風洞実験実施基準分科会，有効高さシミュレーション分科会代表者）

伊藤 英一郎（東京電力ホールディングス）

藤井 大士（関西電力）

上野 信悟（三菱総研）

②委員の選任決議

伊藤 博英（日本原子力発電）（風洞実験実施基準分科会，有効高さシミュレーション分科会代表者）

三本木 満（東京電力ホールディングス）

伊藤 肇（関西電力）

松本 昌昭（三菱総研）

③委員の再任決議

萩原 剛（東芝）

越塚 誠一（東京大学）

吉田 啓之（日本原子力研究開発機構）

山口 彰（東京大学）

岡本 孝司（東京大学）

堺 公明（東海大学）

坂本 幸夫（アトックス）

日比 宏基（三菱FBRシステムズ）

西田 浩二（日立GEニュークリア・エナジー）

宮坂 靖彦（原子力研究バックエンド推進センター）

2) 分科会

① 分科会主査選任の確認

【風洞実験実施基準分科会】

北林 興二（元工学院大学）

② 分科会副主査指名の確認

【風洞実験実施基準分科会】

佐田 幸一（電力中央研究所）

③ 分科会幹事指名の確認

【風洞実験実施基準分科会】

伊藤 博英（日本原子力発電）

④ 委員退任の確認

【風洞実験実施基準分科会】

一条 憲明（IHI）

【シミュレーションの信頼性分科会】

石塚 龍雄（伊藤忠テクノソリューションズ）

⑤ 委員選任の承認決議

【風洞実験実施基準分科会】

山内 邦博（IHI）

【シミュレーションの信頼性分科会】

羽間 収（伊藤忠テクノソリューションズ）

⑥ 常時参加者登録承認の確認

【廃止措置分科会】

山岡 功（原子力安全推進協会）

松居 祐介（テプコシステムズ）

高橋 信雄（日本原子力研究開発機構）

【風洞実験実施基準分科会】

沼田 邦夫（日本原子力発電）

(3) 【報告・審議】”放射線遮へい計算のための線量換算係数:2010”改定要否検討結果の基盤応用・廃炉技術専門部会決議投票結果について（ATC33-3）

放射線遮蔽分科会の坂本主査から ATC33-3 に基づいて、”放射線遮へい計算のための線量換算係数:2010”改定要否検討結果の基盤応用・廃炉技術専門部会決議投票の結果が報告され、改定不要で可決された。

(4) 【報告】標準英訳の優先度調査について（ATC33-4）

基盤応用・廃炉技術専門部会の吉田幹事から ATC33-4 に基づいて、標準英訳の優先度調査について報告があった。

(5) 【報告】用語辞典への標準委員会コメントへの対応に関する意見募集について（ATC33-5）

基盤応用・廃炉技術専門部会の吉田幹事から ATC33-5 に基づいて、標準英訳の優先度調査について報告があった。

(6) 【中間報告】発電用原子炉施設の安全解析における放出源の有効高さを求めるための風洞実験実施基準の改定について（ATC33-6-1，ATC33-6-2）

風洞実験実施基準分科会の伊藤幹事、沼田常時参加者から ATC33-6-1，ATC33-6-2 に基づいて、発電用原子炉施設の安全解析における放出源の有効高さを求めるための風洞実験実施基準の改定についての中間報告があった。

質疑等は以下のとおり。

- ・附属書 A 図 A. 3(平常運転時の風洞実験における放出源高さ変化率と放出源有効高さ変化率の関係)の根拠となっているデータを参考文献として示すこと。

(7) 【説明事項】

「原子力学会で定めた倫理規程と行動の手引に関する周知について」（ATC37-説明-1 ， ATC37-説明-2 ， ATC37-説明-3, ATC37-説明-4）

基盤応用・廃炉技術専門部会の萩原部会長からATC37-説明-1, ATC37-説明-2, ATC37-説明-3, ATC37-説明-4に基づいて、以下について説明があった。

- (1) 原子力学会の行動指針+倫理規程（行動の手引）
- (2) 標準委員会活動基本方針

(8) その他

（1）次回第34回基盤応用・廃炉技術専門部会は、11月22日（火）10: ~~03~~0から開催することになった。

以上